

施策名	県民の安全を守る活動基盤の整備
-----	-----------------

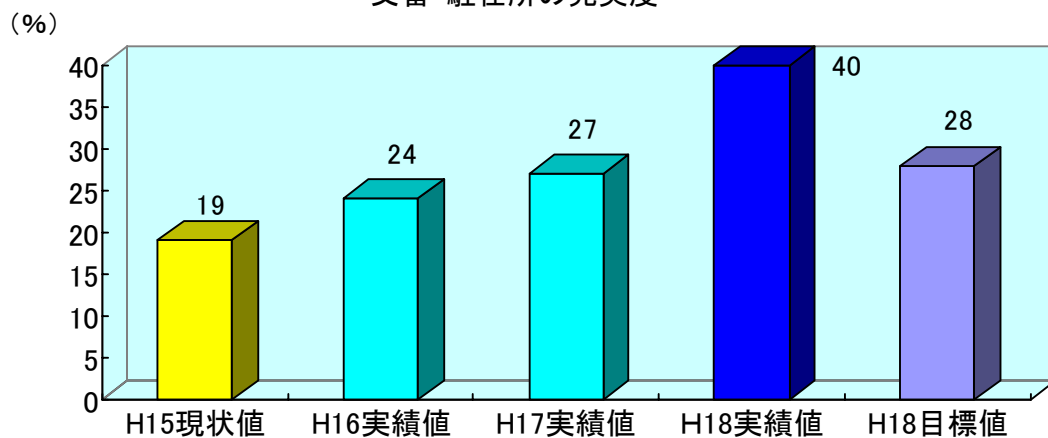
○目的（対象、意図）

警察署、交番・駐在所等の治安拠点や装備資機材等が、変化する犯罪情勢に対応できるように整備されている

○施策の目標

目 標 項 目	目 標 数 値 等	
交番・駐在所施設の充実度	目標値	18年
		28%
	現状値	15年
		19%

交番・駐在所の充実度



○平成18年の業務ごとの取組、成果とコスト

業務の取組と成果		平成18年事業費(千円)	平成19年事業費(千円)
1 警察施設の整備 交番・駐在所が地域の「生活安全センター」としての機能を発揮できる施設とするため、施設のバリアフリー化等に配慮しつつ、建替整備、新設を行った。また、地域の防災活動拠点となる警察署についても四日市南警察署の供用開始を始め、四日市北警察署の耐震補強工事等を実施し機能充実を図った。		3,470,672	1,691,789
2 情報管理業務の推進 第一線現場で活動する捜査員などを対象としたモバイルパソコンを整備するなど、情報セキュリティ対策、業務の効率化を推進したほか、電子申請・届出システムによる各種手続の案内などによる情報提供を推進し、利便性の向上を図った。		337,083	359,493
3 装備資機材の整備 変化する犯罪情勢に的確に対応できる精強な第一線警察の構築に向け、機能性の高い装備資機材を整備するとともに、災害活動に有効な資機材を整備するなど、警察装備の充実を図った。		618,193	694,286

○業務評価を踏まえた総括評価

・目標達成に向けた平成18年の取組と成果

- 社会構造の変化などにより凶悪化・広域化・組織化の一途を辿る犯罪情勢に対応するべく、
 - ・ 交番・駐在所の建替整備・新設
 - ・ 犯罪捜査、防災活動の拠点となる警察署の建替整備・機能充実
 - ・ 警察活動のIT化による業務の合理化・効率化
 - ・ 犯罪に毅然と立ち向かうために必要不可欠な装備資機材の整備充実などを推進し、活動基盤の一層の強化を図った。

・残った課題とその要因

- 平成15年以降4年連続して刑法犯認知件数が減少するなど、治安回復に明るい兆しが見え始めているものの、県民に身近な街頭犯罪や侵入犯罪が依然として多発し、さらには、体感治安を大きく左右する凶悪犯罪が続発するなど、治安に対する県民の不安の解消には至っていないことから、各種の警察活動基盤を整備充実させ、第一線警察活動の強化を図っていくことが喫緊の課題である。

・課題を踏まえた平成18年の取組み

- 厳しい犯罪情勢に的確に対応し、警察署、交番・駐在所等が地域の治安拠点として十分に機能を発揮するよう、警察施設の建替整備・新設を始め、装備資機材の整備充実、警察活動のIT化による業務の合理化・効率化を図り、警察活動の一層の強化に努める。